

東田機工 株式会社



伝統技術と顧客のニーズ
を融合させて最新のネジ
転造機を開発

大阪府
東大阪市高井田本通2-3-3

代表取締役
東田 勇人

1892年(大正11年)創業
TEL 06-6783-3001

<http://www.netapple.ne.jp/higashida>

平ダイス式水平型転造盤は国内トップシェアを占め、デジタルカメラ・DVD・コンピューター等の精密機器から自動車部品にいたるまで、幅広い分野の精密転造加工に対応するべく、多彩な高精度平ダイス式ネジ転造盤を設計・製作。

基盤技術を結集してクラス最高レベルのローリングマシン（ネジ転造盤）を製造

戦前からの機械づくりの歴史と戦後まもなくからのローリングマシン製作の経験を有する同社は、一般産業用ネジはもちろんのことITや精密電子機器から自動車のエンジン用精密ネジのほか、溝入りピンや軸などの特殊形状パーツの高精度フォームローリングまで対応可能な、クラス最高レベルの精度・耐久性・操作性を備えたローリングマシンを用途に応じて提供できる「企画・設計・製造・指導のトータル力」を保持している。産業集積地ならではの協力企業との連携とも相まって、顧客の高品位・高付加価値生産への貢献度を高めている企業である。

高精度・高付加価値機のポイントは「キサゲ」技術などの「匠の技」

高精度に安定生産できる機械の競争優位たる特徴は、スライド部の「キサゲ」による高精度摺動面仕上げにある。これは、摺動面を精密な平面に保ちながらも、微細な油だまりをつくることにより油膜を保持し、動作抵抗を削減する技術によるものである。この高精度を本当に生かすための、精度最優先の特徴的機械構造と高剛性一体鋳造ボディにも妥協は無い。

展示会の有効活用で積極的・効果的な販路開拓を推進

同社は社員教育を兼ねて展示会等に積極的に出展するがその際には必ず機械を持参して実演し、目の前で複雑部品の製造を見せることで機械の性能を実証している。キサゲを中心とする伝統技術と顧客のニーズをもとにした最新の機能開発を良い形で融合させることによって、「顧客驚嘆」と「顧客を競争優位に導くこと」を狙っており、社会適応型の経営を目指して従業員と製品の相乗的な成長を通じて顧客利益の拡大に貢献しようとしている。

